

新幹線の車いすスペース 拡大で一步前進！！ これからも要求実現に向けて 取り組んで行きます！！

東海道新幹線の車いす用座席（スペース）について「赤羽国土交通相は8月3日、現行の1編成1～2席から6席に増やすようJR東海会社に要求し、当面4席としたJR東海に、さらなる拡充を求めた。国交省は障害者の団体の意向なども踏まえ、月内にも全新幹線の車いす用座席の新基準を決める」と報道しました。同日に大井車両基地で6席分の車いす用スペースを設置した車両で車いすがスムーズに移動できるかなどの検証も行われたと報道されています。

東海労本部は、昨年申19号（12月25日）で「お体の不自由なおお客様のご予約への対応について」の申し入れを行っています。また、東海労本部と関西地本で2月10日に「れいわ新撰組」の木村英子議員と『新幹線を車いす利用で乗降する際の不便さの解消』や『オリンピック・パラリンピック対策』などの意見交換を行いました。また、2月12日にはDPI（障害者インターナショナル日本会議）を訪問して「新幹線車内の車いすスペース拡大！、車いす乗車はweb活用でスムーズな予約発売を！、車掌の人員削減問題」等の意見交換を行ってきました。

今回、車いすスペース拡大に一步前進したことは東海労の地道な取り組みの成果といえます。

私たちは今後も、更なる車いすスペース拡大と障害者がスムーズに東海道新幹線をご利用出来るように取り組んで行きます！

**私たちは誰もが鉄道を安全・快適に
利用できるよう、会社に要求します！**